02021年3月議会　代表質問　太田とおる

　寝屋川市ではこの間、新型コロナ対策では、市独自の施策が数多く展開され、市民生活を支えていることを高く評価しています。特に自宅待機中の配食サービスや、特別養護老人ホームなどで働く職員のPCR検査の実施など市民から喜びの声を聴いています。更なるPCR検査の社会的検査の拡充を求めます。

　市としての市民生活を守るための給付金をはじめとするコロナ施策の実現を求めます。

　新型コロナ対策はワクチン接種が一番大きな希望として多くの市民が待ち望んでいます。市として総力を挙げて取り組んでいくとありますが、今後のスケジュールをきめ細やかに市民へと適時周知していくことが重要です。

　次に災害対応です。施政方針では国土強靭化地域計画によりソフトハードの両面から防災・減災対策を計画的に進めるとあります。具体的な施策して浸水対策としての古川雨水幹線バイパス菅工事、高宮ポンプ場の整備。洪水ハザードマップの更新が示されています。防災減災対策として評価するものです。

次に寝屋川駅前の新中央図書館の開設がターミナル構想の第一弾として示されました。

今回、寝屋川駅前電通キャンパスの取得に向けた取り組みを進めるとあります。

　現在のように市役所の機能が分散しているのは市民の利便性の観点からも検討が必要な事項であることは理解していますが、市の丁寧な説明とできうる限りの情報公開を求めます。

　次に自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進　行政手続きの徹底したオンライン化やAI・RPAなどを活用した行政事務の効率化を進めるとされています。

の解消に向けた支援を行う

　この間、年間を通した待機児童のゼロの継続やコロナ禍の下での子育て支援を評価しています。

　具体的な施策として今回、「仮称with　books事業（HOPステージ）を実施し、就学前教育の充実を図るとされています。

　産後うつの予防や育児不安の解消を図る環境整備や多胎児家庭の支援を評価します。

待機児童ゼロプランＲの推進

　第四中学校区の小中一貫校の建設にあたっては、保護者、児童生徒、教職員、地元市民など関係者の意見を広く聞き、合意のもとに進めることを求めます。

中学校給食における拡大親子方式の導入による温かい給食の提供は評価します。

公金の支出抑制のためにも、危機管理の観点からも、今後、起きることが予想される災害時の給食センターとしても、小学校の自校調理は残すべきと考えますが

当初示された高齢者福祉計画では6800円から7200円とされていた介護保険料の基本月額で180円増の6390円、14段階から18段階へと所得段階を多くすることで低所得層への負担軽減をしたことは一定評価します。高齢者が増えて介護利用者が増えると介護保険料が上がる現行の介護保険制度の仕組みを変えることが求められます。一般会計からの繰り入れによる保険料の軽減、介護保険料・利用料の減免制度の創設拡充を求めて市の見解を求めます。

　次に乗合いワゴン事業が見直され、タクシーを利用した乗合い事業としてわずかですが、地域を拡大して始まることは評価します。今後の市域の拡大を求めます。

また、路線バスを利用したバス利用促進事業も評価します。更なる利便性の向上に向けての取り組みを求めます。

子育て、教育では、離婚後の養育費の支払いや面会交流が安定かつ継続して履行されるよう、弁護士による相談やひとり親への公正証書作成支援が提案されています。子どもたちの養育環境を守るための施策として評価します。

打上川治水緑地のパークマネジメントプランについて、バーベキュー広場やドックランなどが計画されていると聞いています。市民、地域住民の意見を聞いた計画にするよう求めます。

次に空き店舗が増加している萱島地区の空き店舗の活用を進める検討会やワークショップなど事業者誘致を進めるとあります。空き店舗対策に乗り出すことは評価するものです。

夜間の防犯パトロールについては夏季だけの実施から、昨年、夏季・冬季と拡充され評価しています。今回、防犯パトロールの時間帯の延長についても安心安全なまちづくりの一環として評価するものです

受動喫煙対策が市内4駅周辺地域を対象に取り組まれることは評価します。

新型コロナ下で生活が厳しくなり生活保護の活用がますます重要になってきます。

次に障碍者施策について

旧焼却場の解体、ストックヤードの整備が行われることは評価します。

4市施設における廃プラの材料リサイクルをやめサーマルリサイクルへの転換を求めます。また、太陽光や小水力発電など市の特性を活かした自然エネルギーの活用を市が市民と共同して推進することを求めます。

自治体経営について

望まない残業を解消し、生産性の向上とワーク・ライフ・バランスの実現を図るため、「働き方改革推進プラン」に、基づき本市の働き方改革を着実に進めるとされています。その上で新型コロナ対策でより多くの人員配置が必要な状態となっています。

この間、窓口専門の職員が配置され、市役所を利用した高齢者の方から丁寧な対応で非常に助かったとの声も聞いています。当初の予定通り正規職員への登用も行われるとのことですが、職員全体の資質向上に向けて更なる努力を求めます。

また、プレミアム付き商品券事業をプレミアム率20％として発行をすることは評価します。